

大阪府立

東大阪

支援学校

タイトル(テーマ)

今年度のスパイダーの取り組み
～高等部普通課程事例～

東大阪 No. 号

令和
4年1月12日

取組の内容・授業の様子(学部名)

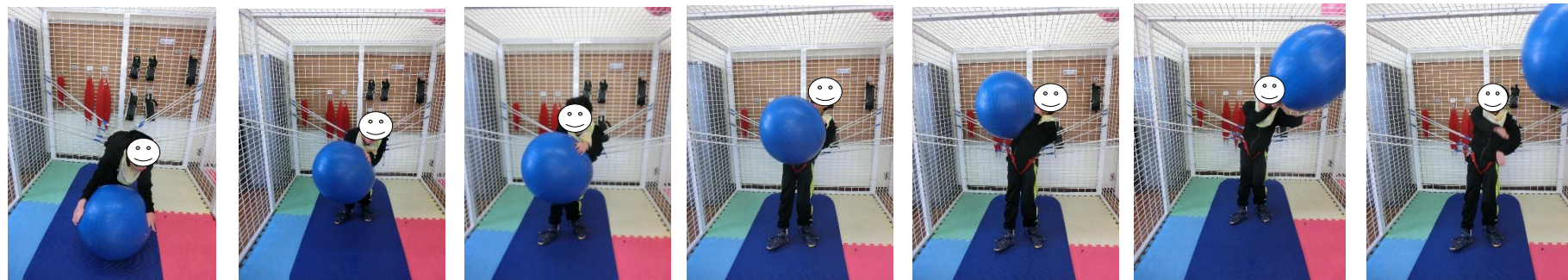
【目的】・足底をしっかりとした姿勢での全身運動 ・身体の正中位を認識する ・自らの身体の動きを引き出す

【方法】・引き出したい身体の動きに応じて、バンジーコードの位置を調整し負荷を増減する

- ・上肢の動きを引き出す時には、フレームの上部にボールを吊るす。
- ・全身運動では、バルーンボールを使用する。

【内容・経過】

特にバルーンボールを使用した身体活動では、立位からしゃがみ込み、ボールを抱え込んで伸びあがり、大きく腕を伸ばして放り投げる動作を繰り返し行うことができる。その際、正中位に重心を移動させることができる。運動量が増えたとしゃがみ込む姿勢になるが、また、立ち上がり立位姿勢を保つことができる。



成果と今後の課題

踏ん張る力や、体幹を保持する力を維持しながら、ボールを使って粗大運動を行うことができた。特に、バルーンボールを抱え込んでから、更に上体を起こして伸び上がる、投げるという一連の流れは、バンジーコードを調整する中で、自身が動かしたい動作、運動につながっていったと思われる。バランスを保とうと、足を動かして正中位に移動できたことも大きな成果である。上肢だけでなく、バンジーコードを支えにしてボールを蹴ることもできる。